



令和5年度卒業式 卒業生答辞の様子(→P7)

### 特集

#### 特集① 令和6年度 新体制発足

#### 特集② 世界をリードする魅力ある大学をめざして—

公立大学法人名古屋市立大学 第四期中期目標・中期計画の概要

#### 特集③ キャンパスの再編整備を進めています

01 特集①

03 特集②

05 特集③

06 NCU TRY!!

07 TOPICS

09 学生の活躍

10 国際交流／受賞関連／表彰関連

11 イベントカレンダー／交流会だより／春の叙勲／寄附顕彰

#### DONATION

あなたの力が支えます

### ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課

tel.052-853-8005

# 令和6年度 新体制発足

第四期中期目標・中期計画期間の初年度となる令和6年度の体制をご紹介します。

## INTERVIEW

名古屋市立大学理事長の郡健二郎先生、学長の浅井清文先生のおふたりにお話を伺いました。



理事長  
郡 健二郎

本学は、本年度より第四期中期目標・中期計画期間(令和6年度～令和11年度)に入ります。同中期計画では、重点項目として「研究、施設整備、国際化、DX」の4つの推進を掲げています。これらに加えて、大学の使命である優れた人材の育成と市民の健康福祉の増進に尽くすことにより、社会貢献に一層努めてまいります。

研究面では、大学の自己財源50億円と、名古屋市の財政支援のもと先端研究を推進します(P6参照)。施設整備面では、滝子キャンパスと田辺通キャンパスにおいて新校舎棟を令和9年完成に向けて設計中で、教育研究環境のさらなる充実に取り組んでまいります(P5参照)。

医療面では、令和7年に総合リハビリテーションセンター附属病院の医学部附属病院化を予定しており、6つの病院を合わせて、国公立大学としては最大級の2,223床からなる附属病院群が誕生します。これからも高度医療を提供し市民の皆様の健康を地域医療の方々と共に守ってまいります。

本学のこれらの取組に対する温かいご理解とご支援に深く感謝しております。



副理事長・学長  
浅井 清文

本学が「知の拠点」であり続けるために、異分野融合型の革新的な研究の推進や社会課題・社会ニーズをベースとしたイノベーションの実現に努めます。また、本学の研究力の一層の向上のため、令和5年12月に「なごや先端研究開発センター」を開設しました。研究大学としての飛躍はもちろんのこと、行政課題や地域課題の解決、地域の発展に貢献できるよう努めてまいります。

令和6年4月には医学研究科修士課程に診療看護師コースを新たに開設しました。また、令和7年4月からデータサイエンス研究科データサイエンス専攻修士課程(仮称)及び医学部保健医療学科(仮称)リハビリテーション学専攻の開設に向けて準備を進めており、これらの領域においても高度人材養成という大学の責務を果たしてまいります。名市大のさらなる発展のため、教職員一同、弛まぬ努力を重ね、大学の理念の実現に向けて邁進してまいります。

## 新体制紹介



副理事長・事務局長  
鈴木 峰生

学長補佐(社会貢献)  
山本 明代(人間文化研究科)

学長補佐(ダイバーシティ・ワークライフバランス)  
窪田 泰江(看護学研究科)



理事・副学長(研究)

**今泉 祐治**

学長補佐(研究力強化)  
木村 幸太郎(理学研究科)  
学長補佐(臨床研究)  
松川 則之(医学研究科)  
学長補佐(国際)  
金子 典代(看護学研究科)



理事・副学長(教育)

**伊藤 恭彦**(人間文化研究科)

学長補佐(入試・学生)  
森田 雄一(経済学研究科)  
学長補佐(高大接続)  
上田 敏文(人間文化研究科)  
学長補佐(リハビリ専攻・自己点検評価)  
森田 明理(医学研究科)



理事・副学長(経営)

**吉田 和生**(経済学研究科)

学長補佐(キャンパス整備)  
鈴木 賢一(非常勤)  
学長補佐(医療DX)  
片岡 洋望(医学研究科)

学長補佐(教育研究DX)  
小川 泰弘(データサイエンス学部)  
学長補佐(広報・後援会・交流会)  
飛田 秀樹(医学研究科)



副学長(産学官イノベーション)

**横山 清子**

(データサイエンス学部)



副学長(高等教育院・キャリア支援)

**高石 鉄雄**

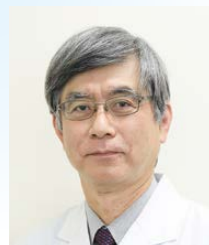
(理学研究科・高等教育院長)



理事(市大病院)

**間瀬 光人**

(医学研究科・附属病院長)



理事(東部医療センター)

**大手 信之**

(附属東部医療センター病院長)



理事(西部医療センター)

**大原 弘隆**

(医学研究科・附属西部医療センター病院長)

理事(財務)  
加藤 博(非常勤)  
理事(知財活用連携)  
佐々木 剛史(非常勤)

学長特別補佐  
福島 哉史

監事  
前田 篤(非常勤)  
監事  
竹内 裕美(非常勤)

参与  
丹羽 吉彦

# 世界をリードする魅力ある大学をめざして— 公立大学法人名古屋市立大学

## 第四期中期目標・中期計画の概要 (令和6年4月～令和12年3月)

### 中期目標・中期計画とは？

中期目標とは、公立大学法人が達成すべき業務運営に6年間の目標として、設立団体の長が定めるものです。

公立大学法人は、中期目標を達成するための具体的な取り組みを中期計画として定めます。

### 中期目標（「前文」より）

- ① 持続可能な開発目標(SDGs)をはじめ世界規模で発生する高度かつ複雑な課題にも視野を広げて取り組む。
- ② 時代の潮流に柔軟に対応し、産業界や行政などとの連携を一層強化する。
- ③ 名古屋市を中心とする地域の諸問題の分析・解決に寄与し、ひいては国際社会へ貢献する。
- ④ 将来にわたって健全で自律的な法人運営を持続し、全学が一体となって社会ニーズに対応した教育・研究・社会貢献・医療に取り組む。

これらを通じて、一人ひとりの多様な幸せと社会全体の豊かさの実現をめざし、多様性と包摂性のある持続可能な社会の構築に貢献し、学生や研究者に選ばれ、世界をリードする魅力ある大学をめざす。

### 中期計画（主な取り組み）

#### 教育

##### ■教育の内容とその成果

- 学修者本位の教育の実施による教育の質保証
- 予測困難な社会に対応できる高い専門性を備えたグローバル人材の育成
- 世界水準の研究者・高度専門人材の育成

##### ■教育の実施体制等

- 新たなニーズに対応できる積極的な学部・学科等の再編
- デジタル技術を駆使した授業形態の開発と推奨
- 急速な社会情勢の変化に応じた教職員の意識向上・能力開発の推進

##### ■学生への支援

- 多様なニーズを踏まえた学修・生活支援の実施
- 学生の自立的な進路選択・キャリア形成の促進
- 学生の課外活動や社会貢献活動への支援



令和7年4月に設置構想中のデータサイエンス研究科(仮称)における高度専門人材の育成

#### 附属病院群

- 新たな時代に対応できる医療人の育成・登用
- 質の高い臨床研究・治験の推進
- 附属病院群が一体となった医療提供体制の充実と高度な医療の提供
- 発達障害児者への支援、がん患者等に対する適切な緩和ケアの提供等を通じた、診療・研究成果の社会への還元
- 安心・安全で質の高い医療の提供
- 地域包括ケアシステムの構築への寄与
- 救急医療及び災害医療の強化



救急災害医療センター 完成イメージ(令和7年度開棟予定)

## 研究・産学官連携

- 先端的かつ国際性の高い研究成果を継続的に創出する世界レベルの研究拠点の形成
- 研究者にとって魅力的かつ競争力を発揮できる研究環境の充実
- 研究を支援する専門職人材の計画的な増員
- 次世代を担う若手研究者・女性研究者等の研究支援
- 大学発スタートアップの創出を通じた研究成果の社会実装の推進

名古屋市との連携のもと創設したなごや共創研究基金を活用し、なごや先端研究開発センターを中心に先端的な研究を推進



## 社会貢献

- 名古屋市等の自治体や地域との協働により多種多様な地域課題及び行政課題の解決に貢献
- 幅広い分野で学びなおしやリスキリング支援が享受できる機会の創出



社会人向けリスキリング「進化型実務家教員養成プログラム」の充実

## 国際化

- 国際的な共同研究活性化のための仕組みづくり
- 留学生や外国人研究者を受け入れ、国際交流を図る環境の整備
- 国際的な教育の質の向上によるグローバル人材の育成



留学生の受入プログラムの拡充等によるグローバル人材の育成

## 法人運営

- 教育・研究・医療・業務運営におけるDXの推進
- 教育・研究施設及び附属病院群における施設整備の推進
- 全学的なダイバーシティの推進
- 多様な財源の確保、財源の効率的な活用
- 積極的な情報提供、国内外への魅力発信
- SDGsの達成に向けた取り組みの推進



医療における新たなDX施策の実施（外来待合表示盤のYouTube配信）

中期目標・中期計画の全文を  
本学ウェブサイトに掲載しておりますので、  
ぜひご覧ください。



<https://www.nagoya-cu.ac.jp/about/evaluation/medium-term/>

# キャンパスの再編整備を進めています



特設ページは  
こちら→



新着情報は  
こちら→

本学のキャンパス再編整備プロジェクトの第1期整備が現在進行中です。本学の施設は、学生・教職員の教育研究活動の場であるとともに、多様な利用者が活動・交流する地域に開かれた公共の場や災害時における防災拠点としての機能も期待されています。

キャンパス再編を通して、学生の多様な学習や活動の支援、学問・分野を超えた革新的な研究の推進及び地域連携・交流の促進に資する施設を実現し、大学としての魅力を高めるとともに、人でのぎわう、活気あるキャンパスを目指していきたく考えています。

第1期整備の基本設計の具体的な内容や今後のスケジュールをご紹介します！

## 第1期整備の概要

令和4年度に取りまとめた基本計画に基づき、令和5年度には、第1期整備に係る基本設計を行いました。

滝子キャンパスでは、八高古墳やソテツ広場、既存樹木などの歴史・自然遺産を継承し、魅力的で豊かな研究・学びの場となるキャンパスを目指しています。

新棟の低層部には、事務室を整備するとともに、地域に開かれた食堂や図書館、多目的活動スペース、大講義室を含む教室等を整備します。ラウンジや自習スペース、グローバルコモン、イベントスペースなど、様々な活動が展開され、学生の居場所となる場、地域の方々との出会い・交流が生まれる場を計画しています。3階から5階には、経済学研究科・経済学部及びデータサイエンス研究科(仮称)・データサイエンス学部の研究施設等を整備します。専門性の高い研究環境を整えるとともに、学部間の融合を促進する場を計画します。

### 滝子キャンパス



外観イメージ



内観イメージ

### 田辺通キャンパス



外観イメージ



内観イメージ

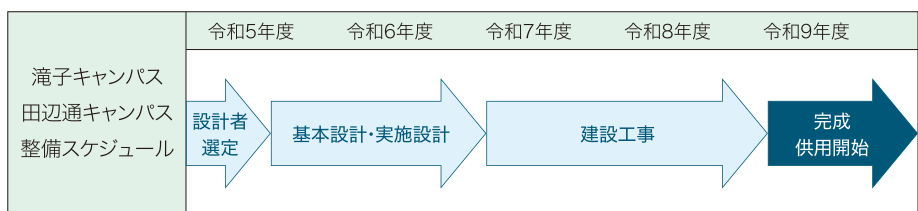
田辺通キャンパスでは、令和9年度に理学研究科・総合生命理学部が滝子キャンパスから田辺通キャンパスへ移転することから、現在のキャンパスマスタープランを継承しつつ、講義・実習機能や実験機能などを備えた新棟を整備し、自然科学領域を融合するキャンパスを目指しています。さらに、食堂や事務室の増築などを行い、学生の利便性の向上を図ります。

新棟の低層部では異分野の融合を促進する共用施設や競争的研究スペースを整備し、上層階は理学研究科・総合生命理学部の研究施設等を整備します。新棟各階の中央部には、分野横断的な交流を生むための共用スペースを整備し、さらに各階を吹抜けや階段でつなぐことで分野を超えた新たな発見・交流を生む仕掛けとなるよう計画します。

## 整備スケジュール

令和6年度は、第1期整備に係る実施設計を進めており、令和7年度に工事着手、令和9年度からの第1期整備部分の供用開始を目指すこととしております。

なお、滝子キャンパスにおいては、整備に先立ち、令和6年度より古墳の発掘調査などを行います。



KEY PERSON 1



人間文化研究科



研究科長 久保田 健市

令和6年4月より人間文化研究科長及び人文社会学部長を務めます久保田健市と申します。人文社会学部では、「自然や他者との関わりを通して地球社会および人間存在を問うとともに、私たち一人ひとりの『持続可能な生き方／あり方』を捉え直す教育」を学部の統一教育理念(ESD)としています。この理念のもと、人文科学・社会科学のさまざまな学問を通して、地域社会・国際社会の諸問題を理解するとともに、学外での実習・フィールドワーク・インターンシップ・留学などを組み合わせ、問題解決への意識や行動の仕方を学ぶ教育を行ってきました。引き続き、学部教育の理念であるESDを維持発展させていくとともに、社会的ニーズ及び入学を検討する学生のニーズに応えるべく、学部の教育体制の見直しを行ってまいります。心理教育学科の学生定員を令和7年度入学生より

20名増やし、令和8年度入学生よりコース制(心理学コース、教育学コース)を導入します。これにより、入学初年度からコースごとの特色ある教育を実施し、学生のニーズに応えます。現代社会学科では、さまざまな都市課題の見つけ出しと解消に向けて、都市課題に通じる法学教育を今後重点的に強化していく方針です。これに先駆けて、今年度より愛知大学大学院法務研究科(法科大学院)との間で部局間協定を締結しました。国際文化学科では、さらに実践知教育を充実させ学問知との融合をはかる教育を目指します。そして、ときに職業人として、ときに市民として、社会のさまざまな場面で活躍する人材の育成に邁進していきます。



学生のグループワークの様子

KEY PERSON 2



なごや先端研究開発センター

センター長 今泉 祐治

第4期中期計画において「研究力強化」が重点項目の1つとして挙げられたことから、かつてない研究支援の原資を得ており、世界をリードする研究大学としてステップアップする好機が訪れています。令和6年度はこれらの資源を最大限に有効活用するシステムを構築しつつ、トップスピードで実働させなくてはなりません。基盤的研究支援となる従来からの特別研究奨励費は若干、大型先端研究機器整備費は約5倍強に増額されました。「なごや先端研究開発センター」では、なごや共創研究基金の大学自己財源50億円を活用し、①先端国際研究、②先端

臨床研究、③研究人材育成・研究環境整備(研究支援人材の獲得・育成)の促進を図るため、関連部門と連携を図りながら事業を企画・実施しつつあります。加えて同センターは、名古屋市との新たな連携研究の支援策として、学内公募事業「共創まちづくり研究推進費」を実施中です。令和6年度の第1次公募には163件の応募をいただき、7月には採択課題を決定する予定です。今後2年間の育成期を経た採択課題の中から、令和8年度以降に熟成期として寄附講座等につなげるべく、名古屋市との協議も進めています。恐らく大学として全国初の官(及び産)への大規模で多様なプッシュ型コンサルティング機能の開発を目指した、大学一自治体の地域連携事業モデルであると認識しています。名市大の新たな特色ある事業として、是非とも成功させたいものです。働き方改革を志向した研究環境の向上にも格段に注力しますので、教員・事務職を問わず、大学研究力強化へ益々積極的なご協力をお願い致します。

第4期中期計画での研究支援策の概要

なごや共創研究基金

大学自己財源  
50億円/6年間

- ▶先端国際研究 7.5億円
- ▶先端臨床研究 26.6億円
- ▶研究人材育成・研究環境整備 15.9億円

第4期中期計画 研究関連項目

- ◆先端的な研究の推進
- ◆研究基盤の強化
- ◆若手・女性研究者等の研究支援
- ◆産学官金連携によるイノベーションの創出
- ◆市を始めとする多様な主体との連携・協働による地域づくり
- ◆臨床研究の推進
- ◆国際化の推進に向けた環境づくり
- ◆その他

名古屋市との  
新たな連携研究  
の仕組み

共創まちづくり  
研究推進費  
令和6年度  
5,000万円

基盤的支援・機器整備費

特別研究奨励費(理事長裁量  
経費) 0.9億円×6年間

大型研究機器整備(特定運営  
費交付金) 1.7億円×6年間

なごや先端研究開発センター資金組合せ図

DATE 2024.3.22

## 令和5年度 卒業式・修了式を執り行いました

2024年3月22日(金)、1,104名(学部生879名、大学院生225名)の卒業生が本学を巣立ちました。多くの卒業生は4年前の入学式を執り行うことができませんでしたが、今回は保護者の皆さまや教職員に見守られながら、未来への一步を踏み出しました。



<卒業生コメント> ※答辞より

人文社会学部卒業 鳥井楓乃さん

大学生活当初を振り返ると、コロナウィルスの流行により、大きな変化の中で不安とともに大学生活がスタートしたことが思い出されます。そうした日々の中でも温かく気さくな先輩方や切磋琢磨しあう同級生との出会いがあり、さまざまな活動とおしていつのまにか大学生活を楽しみ、充実した時間を過ごすことができました。私たちに温かくご指導し、支えてくださいました先生方ならびに職員の方々に改めてお礼申し上げますとともに今日まで私たちの成長を見守り応援してくれた家族、学生生活を共に過ごし充実したものにしてくれた大切な仲間から感謝申し上げます。

DATE 2024.4.5

## 令和6年度 入学式を執り行いました

2024年4月5日(金)、満開となった桜に彩られ、新たに1,326名(学部生1,062名、大学院生264名)の入学生が、希望を胸に本学の門をくぐりました。



<浅井学長コメント> ※式辞より

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日に至るまでの皆さんのご努力に敬意を表しますとともに、皆さんを支えてこられましたご家族や関係者の方々に御礼申し上げます。本日皆さんをお迎えし、私たち教職員は、皆さんをわが子のように思い時には厳しくも温かく接し、皆さんが将来社会のつくり手となり活躍いただけるよう全力で支援してまいります。学生の皆さんには、一層充実していく本学の環境の中で、真理を考究するリサーチマインドを身につけ磨きをかけるとともに、世界にも目を向けグローバルな視点を備えた人物に育ってほしいと思っています。新入生の皆さん、どうか一人一人が名古屋市立大学で大きな夢を描き、世界で活躍する次世代のリーダーを目指してください。

DATE 2024.3.3

## SDGsセンター Human Feedback プロジェクト 2024 講演会を開催しました

2024年3月3日(日)世界野生生物の日にSDGsセンターと東山動物園との共催でHuman Feedbackプロジェクト「動物とヒトとの共存」講演会を開催しました。1995年から始まったこのプロジェクトは、「人の医療を動物に還元する」をテーマに東山動物園をはじめ全国の様々な動物園と共に活動を続けております。この度、満を持して、本プロジェクト企画者でもある看護学研究科の尾崎康彦教授の総会司会のもと第一回の講演会を開催することができました。県内をはじめ遠方からも熱心な動物ファンの皆さまに駆けつけていただき、たくさんの熱いメッセージや継続開催を希望する声をいただきました。皆さんの関心の高さに触れ、この活動の意義を改めて感じました。今後も継続して開催し、動物とヒトとの共存について皆さまと一緒に考える場としていきたいと思っております。



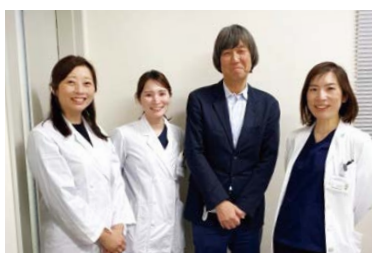
講演会の様子

3 持続可能な健康と福祉

西部医療センター

## 乾癬治療ケアセンターを開設しました

みなさん、乾癬(かんせん)という疾患はご存知でしょうか?耳にただけだと感染や疥癬(かいせん)と間違えられてしまうこともある疾患ですが、乾癬は、頭皮や肘、膝などのこすれる場所にガサガサとした粉のようなものをつけた赤い斑状の皮膚症状を伴うのが特徴です。この度2024年4月名古屋市立大学医学部附属西部医療センターにおいて東海地方初となる「乾癬治療ケアセンター」を立ち上げることとなりました。乾癬は皮膚症状のみではなく、関節炎や高血圧、糖尿病、脂質異常症といった疾患を併存することも多く、より集学的な治療が行えるセンターでの診療が期待されています。



西部医療センター皮膚科メンバー  
(名古屋市立大学病院皮膚科 森田明理教授と)

4 質の高い教育をみんなに

大学院 理学研究科

## サイエンスカフェ in 名古屋 150回記念講演会を開催しました

サイエンスカフェ(Science Cafe, Café Scientifique)とは、科学について市民と科学者が喫茶店でコーヒー片手に気軽に話し合う場です。2006年6月から、システム自然科学研究科時代に始まったこの取り組みは、理学研究科においても続けられています。研究者が市民の中に加わり、科学の話題を提供することで、科学に対する理解を深めることに寄与してきました。多くの喫茶店の協力を得て、これまでに合計150回のサイエンスカフェを開催しています。この春、コロナ禍の後の再開を祝して、記念講演会が行われました。当日は、100名を超える参加者が集まり、高石先生による「健康寿命を延ばすためのウォーキング」についての講演が行われました。講演後の質疑応答は活発で、大いに盛り上がりを見せました。



記念講演会の様子

DATE 2024.3.29

人文社会学部

## 人文社会学部が愛知大学法科大学院と部局間協定を締結しました

2024年3月29日(金)、本学人文社会学部は愛知大学大学院法務研究科(法科大学院)と部局間協定を締結しました。今回の協定により、人文社会学部の学生が、愛知大学法科大学院1年生向けに開講されている憲法や民法などの基本科目を無料で履修できる新制度がスタートします。履修して単位を取得した科目については、本学を卒業して同院に入学した際に単位取得済み科目として扱われ、履修を免除されます。愛知大学法科大学院は、修了生の多くが司法試験に合格し、地域で活躍する法曹を輩出してきました。人文社会学部は人文社会学系の科目を中心に学際的に広く学べることに特徴がありますが、そうした幅広い知識や経験は、法曹になってからも役立つものとされています。今回の協定をきっかけに、法曹として地域で活躍することを希望する学生の進路選択の幅が広がることが期待されます。



締結式の記念写真



DATE 2024.3.14/15

医学部 薬学部 総合生命理学部

## NCUライフサイエンス・IBS(脳神経科学研究所) 合同リトリートを開催しました

2024年3月14日(木)、15日(金)に、静岡県のおつまリゾート彩の郷にて、NCUライフサイエンス・IBS(脳神経科学研究所)合同リトリートを開催しました。本学の医・薬・理の各学部とIBSの研究室、および、本学から転出された先生や本学出身で他大学で独立された先生方(東京大学、名古屋大学、金沢大学、総合研究大学院大学、同志社大学)のグループを交え、約115名の参加者がありました。普段あまり聞く機会のない研究の話聞くことができましたし、学生・大学院生を中心に自己紹介中心のフラッシュトークもあり、活発な議論や意見交換が繰り広げられました。特に若い人には、視野を広げたり共同研究の相談をしたりという大きな意義があったと思います。会議会場費を特別研究奨励費からご支援いただきましたので、学生の参加費を安くすることができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



リトリートでの議論の様子



DATE 2024.3.24

## 大学院 理学研究科 生物多様性に関するシンポジウムを名古屋市と共催しました

2024年3月24日(日)、本学の理学研究科附属生物多様性研究センターは、名古屋市環境局なごや生物多様性センターと「なごや生物多様性シンポジウム2024～みんなでつなごう生物多様性の未来～」を共催しました。会場となった田辺通キャンパス宮田専治記念ホールには当日、12校の高校・大学からの約100名の参加者を含む200名以上が来場し、大盛況でした。

第一部:生物多様性調査の専門家によるなごやの希少種報告、第二部:高校生・大学生が日頃の活動成果を発表するポスターセッション、第三部:名市大の研究者による生物多様性・SDGs研究報告の三部構成で行われ、普段なかなか接点がない専門家・研究者と高校生・大学生が交流する良い機会となりました。



第三部 研究報告の様子



DATE 2024.3.9

## 集え、未来の経営者！ ～ゲームで学ぶ社長の仕事～を開催しました

2024年3月9日(土)、愛知銀行・中京銀行との連携事業として「アントレプレナーシップ(起業家精神)教育」をテーマにした学習イベントを開催し、小学生24名が参加しました。

まずは経済学研究科の鶴岡宏成教授より「起業家ってどんなひと?」と題した座学を受けた後、双申株式会社嶋崎万太郎社長の進行のもと、体験型ゲーム冊子「ゲームで学ぼう!ねこ店長の経営学」に取り組みました。

各参加者がラーメン屋の店長となり、本学職員と愛知銀行行員のサポートを受けながら仕入れや人件費などの計算を行うことで社長の仕事を疑似的に体験。最後はグループでの発表も行い自分とは異なるさまざまな戦略を知ることで、経営学への理解を深めました。アンケートでは「どうやったらお金を稼げるのかももっと勉強したい」「将来社長になりたい」などといった声が寄せられ、「社長の仕事」を学ぶ良い機会を提供することができました。



嶋崎社長からアドバイスを受ける子どもたち



大学院 医学研究科

## 医学研究科の森田明理教授がウシオ電機株式会社と共同開発した「セラビームUV308 mini LED」が「大学ファクトブック2024」に掲載されました

医学研究科の森田明理教授がウシオ電機株式会社と共同開発した日本初深紫外LEDを用いた紫外線治療器「セラビームUV308 mini LED」が、本学における産学官連携活動の実用化事例として「大学ファクトブック2024」に掲載されました。本治療器は本学の機関附属特許技術から開発された医療機器です。大学ファクトブックとは、文部科学省が実施した「大学等における産学連携等実施状況調査について」の結果をもとに、大学における産学連携実績等を見える化するために経済産業省等が発行しているものです。今後、本学の研究活動が益々活発になる中で、このような事例が増えるよう、産学官共創イノベーションセンターの産学官連携活動により尽力したいと思います。



セラビーム®UV308mini LED



DATE 2024.3.25

## 産後ケア講演会を開催しました

2024年3月25日(月)に、名古屋市立大学・名古屋市の共催、一般社団法人日本子育て包括支援推進機構の後援で、産後ケアに関する講演会を開催しました。これは、文部科学省から採択を受けた「共創の場形成支援プログラム」の一環として、子育て支援や産後ケア事業に関わる方向けに、「妊娠期からの切れ目のない支援」の重要性について周知を行ったものです。講師に防衛医科大学の古谷健一名誉教授、東京医療保健大学の福島富士子特任教授を迎え、産科婦人科学の杉浦真弓教授の司会のもと、産後ケアにおけるメンタルヘルスや災害リテラシー、産後ケア事業法整備の経緯と内容、産後うつに関する研究の現状、名古屋市における子育て支援事業などを紹介しました。現地参加32名、オンライン参加68名、計100名の方にご参加いただき、質疑応答では活発な議論が行われました。



会場の様子



杉浦教授、講師のお二人と都理事長



# 学生の活躍

※学年は受賞時



授賞式の様子

## 人文社会学部

### 旅行プランコンテストで特別賞を受賞

2024年2月15日(木)に、全国旅行業協会が主催する「国内観光活性化フォーラム in あいち」が開催されました。このなかで「学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト」の表彰が行なわれ、44件の応募の中から、人文社会学部3年三浦ゼミの提案「IKD ーイン飛鳥村 かわくだり だいさくせん」が特別賞を受賞しました。

三浦ゼミの提案は、ポストコロナにおける観光需要の増加に対応し、かつ家族や子どもたちの非日常体験を可能とする内容であり、文化(筏師・筏)×環境(水・海洋資源活用)×体験のプランを楽しみながら、伝統・環境について学べる点が評価されました。

## 令和5年度 成績優秀者表彰(瑞秀賞)を行いました

2024年5月28日(火)、令和5年度に優秀な成績を修めた学生を表彰する「瑞秀賞」の表彰式が行われ、各学部の受賞者45名に表彰状が授与されました。今後も学業、そしてさまざまな取り組みに励まれることを期待しています。

- |             |             |              |                |               |                    |
|-------------|-------------|--------------|----------------|---------------|--------------------|
| <b>■医学部</b> | <b>■薬学部</b> | <b>■経済学部</b> | <b>■人文社会学部</b> | <b>■芸術工学部</b> | <b>■看護学部</b>       |
| 伊藤 武史       | 秋田 悠斗       | 赤池 亜美        | 石井 美柊          | 伊奈 恵麻         | 柴田 百菜              |
| 野場 優佑       | 岩崎 わかば      | 磯部 佳乃        | 川嶋 康生          | 野々山 欣甫        | 榎田 有花              |
| 服部 蒼生       | 黒土 なな       | 加藤 佳那        | 金 ハナ           | 細谷 雪野         | 邨瀬 友菜              |
| 古橋 杏花       | 竹入 誉人       | 川畑 和佳奈       | 笹山 春華          | 前田 昂輝         |                    |
|             | 武田 百佳       | 籠谷 芽ルモ       | 椎野 陽暉          | 水野 慎治         | <b>■総合生命理学部</b>    |
|             | 辻 敬暢        | 坂口 愛佳        | 菅沼 瑠奈          | 宮本 陽菜         | 大竹 裕太              |
|             | 長江 和映       | 中澤 奈優        | 成瀬 悠衣          | 八十田 実優        | 加藤 りな              |
|             |             | 樋口 恵理        | 前川 菜月          | 吉崎 有希         | 河野 晶葉              |
|             |             | 山崎 大智        | 山根 萌加          | 吉積 怜生         | <b>■データサイエンス学部</b> |
|             |             |              |                |               | 桑山 杏海              |

※敬称略。学部ごと、五十音順に掲載。



## 令和5年度「瑞躍賞」受賞者が決まりました

課外活動や社会貢献活動において、顕著な功績のあった学生や団体を表彰する「瑞躍賞」に、令和5年度は7組(個人・団体)が選ばれました。これからも皆さんのご活躍を期待しています。

### <課外活動部門>

- 森本理子さん(医学部2年)  
日本将棋連盟所属の女流棋士としてデビューし、プロ入り
- バドミントン部  
東海医歯薬科学生バドミントン大会 女子団体戦 優勝
- 犬飼乃愛さん(医学部1年)  
・西日本医科学生総合体育大会 個人戦 女子シングル 3位入賞  
・東海医歯薬科学生バドミントン大会 個人戦 女子シングル 優勝  
・東海医歯薬科学生バドミントン大会 女子団体戦 優勝
- 医薬看卓球部  
・西日本医科学生総合体育大会 卓球競技 男子団体 3位入賞  
・秋季近畿医科学生卓球大会 男子団体 優勝、女子団体 準優勝
- 池田遥菜さん(薬学部4年)  
・関西薬学生卓球大会 女子シングルス 優勝  
・秋季近畿医科学生卓球大会 女子団体 準優勝

### <社会貢献活動部門>

- 出口志穂さん(人間文化研究科2年)  
・防災ママかぎつばた 副代表  
乳幼児親子を対象に防災啓発活動を実施  
・ノートルモンド名古屋 代表  
外国の文化・食文化・環境について子ども・学生・親世代に伝える社会活動を実施
- 障害者問題研究会  
「共生社会」の実現に貢献  
・知的障害・ダウン症などの障害を持った仲間と交流会を毎月実施  
・障害について学習・議論を行う勉強会を開催



受賞者の集合写真

## 学生の受賞

※学年は受賞時

### 経済学部

#### 第21回 キャンパスベンチャーグランプリ中部 名古屋商工会議所会頭賞 受賞

<演題>子育て応援アプリ“けるばぶ”

<受賞者>経済学部 出口将人ゼミ(3年生 4名)

中川 結菜さん、長谷川 凌さん、清水 萌南さん、井上 日和さん



# 国際交流

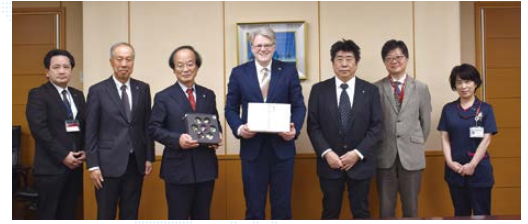


## 駐日リトアニア共和国特命全権大使が 本学を訪問されました

2024年3月15日(金)、オーレリウス・ジーカス駐日リトアニア共和国特命全権大使が本学を訪問され、市立大学病院を視察されました。本学からは郡健二郎理事長はじめ副理事長、市立大学病院関係者が同席し、懇談を行いました。また、大使は手術室と外来化学療法室を視察されました。手術室では、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作を体験されました。



視察の様子



懇談後の記念撮影

### 名古屋市立大学病院

## ベトナム国立がんセンター(K病院)にて高難度ロボット手術を披露 —ロボット手術技術に関する施設間連携協定締結—



瀧口修司教授へのベトナム国営放送からのインタビュー

市立大学病院消化器外科は、JAPAN-VIETNAM Robotic Laparoscopy Surgery Week (RLSW) (2024.02.18 - 2024.02.23) として、ベトナム国立がんセンター(K病院)を訪問し、ベトナム国民が注目する中、1週間で胃がん・肝臓がん・食道がん・直腸がん(2件)のロボット手術5件を施行してきました。

K病院はベトナムにおける主要ながん治療施設として重要な拠点病院のひとつです。高度な医療技術とその専門知識を活かして、多くの患者さんに質の高いがん治療を提供しています。ただ、ベトナムでは手術支援ロボットを導入したばかりです。今回当院が有するロボット手術の深い知識と高い技術を消化器外科領域において提供した結果、将来にわたってベトナムの医療技術、特に腫瘍学のロボット手術の進歩に貢献し、医療水準の向上に結び付ける上で大きな一歩となりました。さらに市立大学病院とK病院の間で連携協定を締結しました。

JAPAN-VIETNAM RLSW の模様は、ネットニュースのみならずベトナム国営放送で大々的に報じられました。K病院で施行した手術や施設間連携協定調印式の模様、瀧口修司教授へのインタビューが放映され、これまでのK病院との交流に加えて施設間連携協定を結ぶに至った経緯、今後の展望について伝えられるなど大きな評価を受けています。



K病院での手術(ロボット支援胃悪性腫瘍手術 執刀:瀧口修司教授)

## PRIZE 受賞

※受賞期間:2024年1月~2024年3月頃 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載



### ■医学研究科



日本ロボット外科学会  
第16回 日本ロボット外科学会  
学術集会「優秀演題賞」

<受賞者>  
医学研究科 消化器外科学  
講師 森本 守



日本ロボット外科学会  
第16回 日本ロボット外科学会  
学術集会「優秀演題賞」

<受賞者>  
医学研究科 消化器外科学  
病院助教 早川 俊輔

### ■理学研究科



日本神経科学学会 2024年  
Neuroscience Research (NSR)  
論文賞 "NSR Best Paper Award"

<受賞者>  
理学研究科 生命情報系  
教授 木村 幸太郎

## 名誉教授称号付与

2024年4月1日付で名誉教授の称号が付与されました。専門分野において研究・教育に尽力される一方、本学の発展および大学運営に大きく貢献された方々に、多年にわたるご尽力に感謝するとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。

### ■医学研究科

稲垣 宏 教授  
青木 康博 教授  
■薬学研究科  
林 秀敏 教授  
鈴木 匡 教授  
松永 民秀 教授

### ■経済学研究科

外谷 英樹 教授  
■人間文化研究科  
飯島 伸彦 教授  
■芸術工学研究科  
水野 みか子 教授  
高橋 信雄 教授  
原田 昌幸 教授

### ■理学研究科

杉谷 光司 教授  
■看護学研究科  
薊 隆文 教授



授与式での写真

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
10.5 SAT	<b>なごや看護実践セミナー</b> タイトル:訪問先でも慌てない!~訪問看護で遭遇しやすい症状 トップ3(痛み、発熱、呼吸困難)のアセスメント 講師:名古屋市立大学病院 集中ケア認定看護師 石井 房世 救急看護認定看護師 清水 真名美 がん看護専門看護師 鬼塚 真実 みんなのかりつけ訪問看護ステーション 吉村 元輝	14:00~17:00 桜山キャンパス 受講料:3,000円	<申込方法> ○名古屋市電子申請 ( <a href="https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya">https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya</a> ) ○E-mail:名古屋市立大学看護地域連携センターホームページ ( <a href="https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/lifelong-seminar/">https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/lifelong-seminar/</a> )より参加申込書をダウンロードし、看護地域連携センター(n.center@med.nagoya-cu.ac.jp)宛に送信 <締切日>9月19日
7.19 FRI - 9.12 THU	<b>看護研究のすすめ「看護研究基礎セミナー」</b> ①タイトル:リサーチエッセイの作り方 講師:名古屋市立大学大学院看護学研究科 准教授 井上 高博 ②タイトル:量的研究の基礎、統計の基礎 講師:名古屋市立大学大学院看護学研究科 教授 金子 典代、 准教授 江 啓発 ③タイトル:質的研究の基本 講師:名古屋市立大学大学院看護学研究科 准教授 大橋 麗子	場所共通:桜山キャンパス ※①③は、オンラインと対面の ハイブリッド形式となります。 ①7月19日(金) 10:00~12:00 受講料:2,000円 ②8月24日(土) 9:00~12:20 受講料:4,000円 ③9月12日(木) 10:00~15:00 受講料:4,000円	<申込方法> E-mail:名古屋市立大学看護地域連携センターホームページ ( <a href="https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/202304051427-66351/">https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/202304051427-66351/</a> )より、参加申込書をダウンロードし、ご入力の上、看護地域連携センター(n.center@med.nagoya-cu.ac.jp)宛に送信 <締切日> ①7月1日 ②8月5日 ③8月26日

令和6年度 夏のオープンキャンパス日程

学部により、開催日程が異なります。詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。



- 医学部医学科 8.3 SAT
- 人文社会学部 7.13 SAT
- 医学部保健医療学科  
リハビリテーション学専攻(仮称) 8.4 SUN
- 芸術工学部 8.17 SAT
- 薬学部 8.3 SAT / 8.4 SUN
- 看護学部 8.20 TUE
- 経済学部 7.20 SAT
- 総合生命理学部 7.20 SAT
- データサイエンス学部 8.10 SAT

交流会だより

医学部同窓会「瑞友会」

名古屋市立大学医学部同窓会は、1968年に初代水谷孝文会長のもと創立され、現在は第11代松本隆会長のもとで運営されています。平成19年から卒業生会員および教職員とそのOBの有志会員から構成される「瑞友会」へと拡大し、現在の総会員数は5,459名となっています。平成26年に一般社団法人化され(理事20名強と各学年代表の代議員で運営)、その活動は基本的に年会費制(5,000円/年)により遂行され(現行は入学時に20年分を納入)、1.総会・講演会・懇親会、2.会報発行(年3回)、3.瑞友会賞(学術部門、臨床部門、社会部門)の授与、4.M4学生への白衣授与、5.西日本医学生運動大会および川澄祭への支援、6.各支部(川澄会)への支援など学術交流促進、などを通じて会員相互の交流促進と親睦、医学部の発展へのサポートを実施しており、年間約2,400万円の収支規模で活発に活動しております。



名古屋市長と愛知県知事も参加された医学部創立80周年記念式典

令和6年 春の叙勲

このたび2名の名誉教授が叙勲受章されました。心よりお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。

**旭日中綬章** 受章者:山本 眞輔 名古屋市立大学名誉教授

<コメント>

名古屋市立大学名誉教授になり20年になります。専門は彫刻です。彫刻を始めて60有余年になります。今回、「旭日中綬章」の受章、大変ありがたく嬉しく思っております。芸術工学部設立時には各省庁との折衝、名古屋市との協議、教授体制の確立など大変だったことを思い出しています。「芸術工学部」の名称も認知までに時間がかかりました。大学退職後も変わらず、彫刻を続け「日展」「日本彫刻会」「白日会」に作品を発表しています。今回の受章はまだまだ頑張れという励ましと受け止めています。機会がありましたら展覧会ものぞいてみてください。



**瑞宝中綬章** 受章者:瀬口 哲夫 名古屋市立大学名誉教授

<コメント>

名古屋市立大学芸術工学部の創設において、これからの時代、工学だけ、デザインだけというのでは十分でなく、両者の長所を活かし、工学とデザインの融合、人材の育成を目指すべきということで、初代芸術工学部長の柳澤忠先生とともに、東奔西走したことが懐かしく思い出されます。発足後は、初代の視覚デザイン学科長、さらに、芸術工学部長を務めさせていただき、創設の理念の実現に微力ながら尽力できたかと思っています。私の研究分野は、都市・建築分野で、工学的な知識はもちろん、法律、歴史、デザインなどの知識が必要とされます。これは芸術工学部の理念に通じるところも多く、ここで、研究、教育を行うことが出来たことは、大変幸運で、今回の「瑞宝中綬章」の受章につながったものと深く感謝しています。今後、芸術工学部の出身者の中から、ここで学んだ先端技術や情報の知識をものづくりに活かし、社会システムに影響を与えるような活躍をする人材が輩出されることを期待しています。



寄附顕彰

大学振興基金

■個人

- 10万円以上 氏名非公表
- 1万円以上 新海 佳子 様、野田 弘治 様
- 非公表 青木 芳隆 様、月山 将 様、鶴見 由香里 様、長屋 守 様、西村 麻里 様、野倉 一也 様、眞鍋 誠 様

■団体

- 10万円以上 一般社団法人 名古屋市立大学医学部同窓会 瑞友会 様
- 非公表 日本空調システム株式会社 様

名市大生みらい応援基金

■個人

- 10万円以上 玉井 浩子 様
- 非公表 玉井 裕也 様、野倉 一也 様、樋澤 吉彦 様

※五十音順。2024年1月1日から2024年3月31日までに寄附をいただき、公表に同意された方。  
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。  
※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、連携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。



【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

**募集中!** 広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ総務部 広報室までお寄せください!

▶▶▶ E-mail : [ncu\\_public@sec.nagoya-cu.ac.jp](mailto:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp)